

おおだて 

平成30年8月1日 129号

市議会だより

平成30年6月定例会 議案等の審議結果	▶ 2
一般質問	▶ 4
各常任委員会の審査から	▶ 10
政務活動費の状況について	▶ 12
議員表彰者	▶ 13
私もひとこと	▶ 14

常任委員会現地調査

建設水道常任委員会では、老朽化が進む達子森公園の遊具の状況などを視察しました。遊具エリアの集約化などを行い、来年度から再び子供たちが新しい遊具で遊ぶことができる」と説明を受けました。

（平成30年6月14日）

達子森公園の遊具



旧正札竹村本館棟解体工事の 請負契約の締結を可決

平成30年
6月定例会

— 契約金額は3億2,508万円 —

平成30年6月定例会は、6月5日から21日までの17日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告14件、専決処分の承認4件、条例案4件、単行案7件、予算案6件、人事案1件、合計36件を審議の結果、全て原案どおり議決しました。ここでは主なものをお知らせします。

請願・陳情の審議結果、意見書の提出状況は以下のとおりとなっています。

専決処分の承認について

市税条例等の一部改正

国の法律が改正されたことに伴い、わがまち特例の導入や市たばこ税の引き上げ、個人市民税の非課税範囲や基礎控除等を見直しするもの。

国民健康保険税条例の一部改正

中間所得層の過度な負担を避けるため、課税限度額の引き上げや低所得者の保険税軽減措置の基準額を見直し、5割軽減・2割軽減の範囲を拡充するもの。

承認

単行案

旧正札竹村本館棟解体工事の請負契約の締結について

公募型指名競争入札により施工業者が決定し、契約金額は3億2,508万円となりました。現在、安全対策や工程、作業手順、法令上の手続等を施工業者と協議中であり、今後関係する皆様へ説明いたします。

原案可決

予算案

平成30年度大館市一般会計補正予算（第1号）案（主な事業）

- ・ 矢立ハイツ耐震改修事業業費計上 9,483万4,000円
- ・ 道路維持補修工事費追加 6,100万円
- ・ し尿処理施設整備測量及び調査費計上 2,220万6,000円

以上を含め、補正総額5億189万3,000円

原案可決

平成30年度大館市一般会計補正予算（第2号）案

- ・ 5月18日から19日の大雨により発生した市道の法面崩壊や河川の護岸崩壊等の復旧に要する費用を計上 379万5,000円

6月定例会に提出された請願・陳情

採 択

【請 願】

- ・ 地方財政の充実・強化を求めることについて

【陳 情】

- ・ 教職員の定数改善と義務教育費の国庫負担割合を2分の1に復元することについて
- ・ 地方消費者行政に対する財政支援の継続・拡充を求めることについて

継続審査

【陳 情】

- ・ 臓器移植の環境整備を求めることについて

継続審査となっていた請願・陳情

採 択

【請 願】

- ・ 原発再稼働の中止を求めることについて

【陳 情】

- ・ 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求めることについて

継続審査

【請 願】

- ・ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について
- ・ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて
- ・ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて
- ・ パークゴルフ場の設置について
- ・ 武道館解体に伴う代替施設建設について

【陳 情】

- ・ 消費税率10%への引き上げ中止を求めることについて

大館市議会から意見書を提出しました

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
《提出先》 内閣総理大臣、厚生労働大臣
- 教職員の定数改善と義務教育費の国庫負担割合を2分の1に復元することを求める意見書
《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣
- 地方消費者行政に対する支援の継続・拡充を求める意見書
《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣特命担当大臣（消費者及び食品安全担当）
- 原発再稼働の中止を求める意見書
《提出先》 内閣総理大臣・経済産業大臣
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
《提出先》 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）

河川改修について

佐藤 さとう

眞平 議員（新生クラブ）



害も心配される。

〔市長〕 岩瀬川は県の管理で、付近は堤防にぶつかる流れと自生の立木で越流などが懸念される。河川環境維持修繕事業への早期組み入れと実施を要望していく。

熊・イノシシ・猿の

出沒マップの作成について

〔問〕 外川原地区木越川の土砂上げ、崖崩れ防止について、この川は木越集落のあった沼から流れ米代川に至り、流域は田畑、休耕田で、川幅は長年の土砂で狭くなっている。少々の雨で水があふれ出て、これまで地区住民が対処してきたが、最近著しい崖崩れにより手に負えず困っている。ぜひ善処願いたい。

〔市長〕

市が管理する普通河川であるが、隣接する山村の立木伐採などに伴い、土砂の流出がふえていると考えられる。改めて現地を確認し、しゅんせつの早期実施を検討する。

〔問〕 上岩瀬地区周辺の岩瀬川の整備・改修について、岩瀬川上岩瀬橋の上流は川の流れが急激に曲がり、今まで何度か水害に遭っている。田畑の復旧に大変に苦労してきた。川幅の大半は立木で覆われ、各地の熊出沒状況から集落やたしる保育園、グループホームたしる、農地への被

地域の安全・安心のために
防犯カメラの設置を

〔問〕 犯罪の未然防止や早期発見、解決のために設置が必要である。

〔市長〕

市では公共施設への設置を進め、小・中学校や保育園に設置している。今年度はニプロハチ公ドームや二ツ山総合公園への設置を予定しており、今後必要に応じて検討する。

一般質問

大館市議会

検索

クリック

終活のための合葬墓の整備について

相馬 そうま

エミ子 議員（新生クラブ）



〔問〕 少子高齢化が進む中でお墓を継承できず「墓じまい」といった終活問題が深刻化しクローズアップされている。秋田市では合葬墓を完成させ話題となったが、申し込みが殺到し混乱を来すほどの反響で、さらに増設するようである。本市でも市民から合葬墓に関する要望があるが、市長として合葬墓を整備する考えはあるか。まずは実態を把握するためのアンケート調査を実施してはどうか。

〔市長〕 市内の寺院、宗教法人などから合葬墓の情報を収集し、実態を把握した上で先進自治体の取り組みを参考にしながら検討したい。

介護保険料や後期高齢者医療保険料の年金からの天引きは高齢者いじめ。国・県に対し見直しを訴えるべき

〔問〕 全国の調査で国保税の滞納者は480万世帯に上り、資格証明書の発行はこの10年間で約5倍の35万世帯にふえている。国保税を1年を超えて滞納すると短期被保険者証が交付され、さらに滞納の状況等によつては資格証明書が交付されることとなり、この場合一旦医療費を全額支払うこととなる。後期高齢者医療保険料も同じ。まさに高齢者いじめである。また、介護保険料を納めているのに施設に入所できないなど、余りにも問題が多過ぎる。本市の現状を見ると介護保険料の滞納者1,803件、国保の短期被保険者証が362世帯で612人、資格証明書は25世帯36人とふえているが、市長はこの現状をどう受けとめているのか。少ない年金で病院の受診もままならないのである。市民の生活を守るためにも国や県に対して社会保障を見直しするよう訴えるべきと思うが市長の考えは。

〔市長〕 滞納者に十分耳を傾け、国保税の減免や徴収緩和を助言し、柔軟かつ慎重に運用しながら国保税の抑制に努めていく。また、市長会等でも取り上げ、市民の暮らしを守るために頑張りたい。

学校統合の計画に小中一貫教育校等も

佐藤 健一 議員（いぶき21）



〈問〉 市内、小・中学校の統合計画について伺う。地域性を考えて、小中一貫教育校等も検討しては。

〔教育長〕 小・中学校の学校統合については、29年12月に第二期「大館市学校教育環境適正化検討委員会」を設置し、次の10年先を見据えた学校教育環境のあり方についての提言が出される。地域社会における学校は、まちづくりの中核であり、都市計画課が進めている「大館市都市再興基本計画」と連動し、単に統廃合にとどまらず小中一貫教育校や義務教育学校などの運営方式や、学区の自由選択制度、特認校制度など、多様な発想を持って取り組む。

2017年人口動態について

〈問〉 大館市の現状と対策は。

〔市長〕 大館市の昨年度の出生数は、過去5年間で最も少ない382

人、死亡者数は1,201人と最も多かったため、差し引き819人の自然減となった。こうした状況の中、将来の方向性を示す「大館市人口ビジョン」を定め、「大館市総合戦略」を策定し、政策分野ごとに4つの基本目標に沿って取り組みを具体的に進めている。今年度は新たに保育園

園を利用していない1歳未満の子供を在宅で育てている方を対象に「大館市在宅子育て支援事業」を開始し、子育てしやすい環境づくりをさらに進める。

農業政策について

〈問〉 ドローン運転技術講習に対する補助金の考えはないか。

〔市長〕 産業用ドローンの資格取得については「大館市資格取得支援事業」の助成対象になる。助成内容は、資格取得経費の2分の1以内、10万円を限度に交付するものであり、平成29年度の助成は農業法人2団体の4人、合計31万円ほどの実績である。現在は法人への助成としているが、今後認定農業者等の個人への助成も検討していきたい。

一般質問の全文は、9月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

広域観光連携について

斉藤 則幸 議員（公明党）



〈問〉 北前船寄港地との交流は、大館市の活性化につながるのでは。

〔市長〕 議員御提案の北前船寄港地との連携や交流は、私も大変重要なものと考えている。本市は、北前船が寄港した能代の港と米代川でつながる縁が深く、江戸時代から北前船で運ぶ秋田杉や鉱山資源などの物資を米代川を活用して運搬した歴史がある。

ふえ続ける空き家対策について

〈問〉 空き家を解体した後、更地になった土地の固定資産税を減免できないか。

〔市長〕 空き家対策のための減免については、先行事例の効果の検証や税の公平性の担保、法律の減免の趣旨など、総合的かつ慎重に検討する必要がある。

街かど消火栓の導入について

〈問〉 初期消火に役立つ街かど消火栓を導入すべき。

〔市長〕 街かど消火栓は、誰でも容易に操作できる利点がある一方で、断水時は使用できなくなることも念頭に置く必要がある。街かど消火栓の導入については、課題を整理し、設置の有無など総合的に勘案しながらその可能性を検討したい。

感震ブレイカーの普及と補助金について

〈問〉 二次災害を防ぐ感震ブレイカーの普及と補助金制度を創設すべき。

〔市長〕 市では、防災訓練などにおいて、地震発生時、避難する際にはブレイカーを落とす必要があること、また、感震ブレイカーの設置が有効であることを説明している。今後、火災予防週間における講話や出前講座など機会あるごとに、より一層積極的に啓発してまいりたい。また、議員御提案の補助金制度の創設については、今後、国や県の動向を注視しながら検討していく。

大館市のスポーツ振興と公共施設管理

武田^{たけだ} 晋^{すすむ}議員（平成会）



〈問〉 ニプロハチ公ドームとタクミアリーナは連携した施設と捉え指定管理制度を考えるべき。

〔市長〕 両施設は隣接しており、駐車場や施設の相互利用など調整を図ってきた。今後、指定管理者の定期的な協議の場を設けることや公募の条件に相互連携を盛り込むなどの方策を講じ、両施設一体での利活用や来場者の利便性向上を図りたい。

スポーツ大会誘致に関して

〈問〉 全国規模の大会誘致等、民間のノウハウを取り入れたアドバイザー契約などの方法を考えては。

〔市長〕 オリンピック・パラリンピック等経済界協議会を通じて、ランニングクリニックなどを開催してきた。大手企業と連携することで、民間企業のノウハウを生かした全国規模の大会開催誘致や施設管理事業

への支援などにもつながる。さらなる連携を検討したい。

公共施設等総合管理計画に基づき個別施設計画について

〈問〉 個別施設計画を今後どのような方法で具体化させるのか。縮減数値目標を設定して推進する考えはあるのか。また解体処分実施予定施設は、年度計画を立てた実施を考えているのか。

〔市長〕 施設の総量削減に向けて、常にご利用実績や維持管理費用、老朽度合い等を検証し、さらに民間や地域への貸し付けや譲渡も進める。また、縮減数値目標の設定に関しては、33年度の総合管理計画の見直しの中で数値目標を設定し、新たな計画の推進を図ってまいりたい。公共施設の解体は、公共施設解体撤去基金や公共施設等適正管理推進事業債の活用を基本に、特定の年度に負担が偏らないよう配慮し、計画的に進めたい。



大館市議会

検索

クリック

一般質問

福原市政について

田村^{たむら} 儀光^{のりみつ}議員（平成会）



〈問〉 人口減少対策をどのように考えているのか。

〔市長〕 市総合戦略に基づき、4つの政策分野で具体的な取り組みを推進している。「ひとづくり」では、保育料・医療費助成制度の充実などの子育て支援、大館ふるさとキャリア教育などの教育・文化の推進等に取り組んでいる。「暮らしづくり」では、大館版CCRC導入事業などの健康福祉の増進等に取り組んでいる。「ものづくり」では、地域産品磨き上げ事業などの農林業の振興、企業人材確保支援型奨学金事業などの雇用対策と新たな産業の育成等を推進している。「物語づくり」では、「秋田犬」活用による観光地域づくり推進事業などの観光・物産振興、首都圏からの移住促進事業などのAターン・定住促進に取り組んでおり、4つの分野それぞれで一定の成果を上げることができている。各種施策・

事業の検証を行い、必要に応じて計画を見直し、人口減少の抑制と地域の住みよい環境を確保するとともに、持続可能な未来創造都市の実現に努めてまいりたい。

釈迦内パーキングエリアの利活用

〈問〉 情報発信の拠点とする考えはないか。

〔市長〕 上下線双方の車両が利用できるため、さまざまな活用法が考えられる。物販や観光案内等の情報発信拠点を含め、国土交通省と密に連携を図り、関係団体と相談の上、検討してまいりたい。

田村鉄工所跡地の有効利用

〈問〉 歴史遺構として有効活用の考えは。

〔市長〕 市が参画できる可能性を慎重に検討させていただきたい。

十ノ瀬 藤の郷の周辺整備

〈問〉 旧軌道敷を利用して駐車場を整備する考えは。

〔市長〕 園内裏手にある旧軌道敷の活用等を含め検討してまいりたい。

大館駅建設のJR負担は0。664億円もの借金を抱える当市が更に7.2億円の借金をし、純益270億円の大企業JRに駅を建ててやるような「大館駅合築駅舎事業」は見直すべき

佐藤 芳忠 議員（無所属）
さとう よしただ



〈問〉 大館駅合築駅舎事業はJRに大館市が駅を建ててやる事業です。270億円もの利益を出している大企業JRに、664億円もの借金を抱えている当市が8億円超もの市費で、駅を建ててやる必要などありはしません。

この概算事業費は13億5千万円です。しかしこの事業費はJRが算出したのです。大館駅の解体費と建設費、JR関連会社のコンビニ等の移転補償費を算出したのは、事業を行いお金を出す市ではなく、市のお金により移転補償されるJRが算出したのです。負担割合は市が60%、国が40%、JRの負担は0です。この負担割合もJRが決めたのです。どうしてJRが一銭も出さないのかといいますと、市が駅前広場の通路をロータリー化し出入口を一本化する事業を行うからです。そのためには大館駅を壊さなくてはならないからです。しかし、ロー

タリー化するために市が8億円超ものお金を出し駅を建ててやる必要があるでしょうか。ハチ公の駅にバス乗り場を移し、ハチ公の駅をロータリー化すればいいのです。そうすれば8億円もの市費が節約できます。

大館駅合築事業の問題点は、駅ビルが交流拠点施設としての目的が果たせなくなったのに事業を実施しようとしていることと移転保障される側のJRが自らの補償費と事業費と負担割合を決定していることです。そのため駅ビルの面積は減ったのに事業費は倍増し市の負担も増えました。

JRの見積りは高すぎます。28年の市の見積りは100mで6億4000万円でしたが、30年のJRの見積りは100mで13億5千万円でした。保証されるJR側の金額とか負担割合をそのまま認めることはいけないことだと思えます。お答えください。また、もしどうしてもやるのであれば、市が積算した額、6億4000万円で行うべきです。7億円も節約できるのですから。

〔市長〕 今JR秋田支社と色々な分野で連携を進めており、信頼関係を損ねたくないの、市長としてのコメントは、額に関しては差し控えてさせていただきます。

一般質問の全文は、9月上旬に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

「静かなる有事」

中村 弘美 議員（平成会）
なかむら ひろみ



〈問〉 加速する人口減・自治体の廃止議論も現実味。広域連携など市長の見解は。

〔市長〕 これまで大館市総合戦略に基づき、さまざまな施策に取り組んできたところであり、県との連携はもとより、北秋田市・小坂町及び上小阿仁村との地域連携DMO秋田犬ツーリズムの設立、函館市・仙北市との3D連携、奥州藤原氏を縁とした平泉町・横手市及び美郷町との連携を推進してきた。さらに今年度は、弘前地区消防事務組合との消防相互応援協定の締結や、弘前市との空港利活用に関する連携など、県の枠にとらわれず、軌を一にする自治体との広域的な連携をさらに加速させたところである。

歴史まちづくりに関して

〈問〉 戊辰戦争150年。大館地

方の戦いと城代佐竹大和についての感想は。

〔市長〕 北羽歴史研究会が30年の長きにわたり活動を継承され、数々の実績を残してこられたことに対し敬意を表する。こうした積み重ねが本市の歴史的風致維持向上計画に関連する事業の推進に資するものと考えており、今後より一層の取り組みに期待しているところである。大館戊辰戦争では城代が城に火をかけて敗走したというイメージが伝えられていたが、新たな一面をかいま見ることができた。秋田藩の中では大館が唯一反転攻勢に成功し大館城を奪還したことや、上級武士が率先して戦った姿などは、尊敬に値する。こうした先人の足跡が、大館の礎を築き上げたと考えている。

〈問〉 「歴まち大館」をさらに深めるため、アーカイブスの設置と古文書読解の専門職員の配置を。

〔市長〕 今後は、専門家から支援をいただきながら継続して歴史資料を収集・整理するとともに、公開できる方法を模索する。県公文書館や研究者と連携し、古文書や歴史資料を読み解くことができる人材の育成にも努める。

「大館ぐるみ温泉郷」の活用と市の活性化について

阿部 文男 議員（平成会）



い人たちのためにも、雇用の場の創出と確保をしていただきたい。

〔問〕 大滝温泉地域は、観光だけでなく、いろいろな方向から活用を考える必要がある。大滝温泉の地の利を生かして、豊富な温泉を利用した滞在型の医療施設エリアの新設を前向きに検討してもらいたい。医療器具・医薬品メーカーと大館市で協働体制をつくり、地区全域を研究開発施設を併設した医療・療養地域につくり上げることを提案したい。先進医療を行う医師を招聘し、将来的には北東北の医療の核心地になれるような「医療の町、大館」の創造を目指してほしい。また、大館市都市再興基本計画についての住民アンケートでは、今後のまちづくりにおいて市に期待することは、一般市民は「医療と福祉の充実」、高校生は「働く場や仕事の充実」が最も多い回答であった。市は国民保養温泉地の指定を受けたメリットを大いに生かし、大館に住み続けたいと考えている若

〔市長〕 地域固有の資源である温泉を活用し、地域の活性化につなげていきたいと考え、昨年5月に市内各地に点在する温泉を一つの温泉地と捉えた「大館ぐるみ温泉郷」として国民保養温泉地の指定を受けた。

「大館ぐるみ温泉郷」はさまざまな個性を持った温泉の集合体であるので、国指定というブランドを武器に、それぞれの特色を最大限に発揮させ、地域の活力創出を目指してまいりたい。大滝温泉は、秋田藩主佐竹公の湯治場として知られるなど県内随一の歴史を誇る温泉であり、区域内には秋田労災病院や秋田県北部老人福祉エリアなど、温泉を活用した医療・福祉施設が所在していることから「温泉を活用した福祉のまち」として取り組んでいくこととしている。ワーク・ライフ・バランスが叫ばれる中、滞在型健康拠点のニーズは高まっていると考えられ、インバウンド富裕層に温泉休養を提案するなど、交流人口の拡大を図り、温泉地の活性化につなげてまいりたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

2017年の人口動態統計をどのように分析し、今後の施策に反映させるのか

佐々木 公司 議員（いぶき21）



〔市長〕 少子高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者が増加する中、一定程度の需要があると考ええる。まずは、情報収集と実態把握をし、実情やニーズを踏まえ、検討したい。

熊対策について

〔問〕 熊が人里におりてくるようになり、人間への被害が心配される。人の居住エリアに近づく熊にほえ、森の奥に戻す熊対策犬「ベアドッグ」として秋田犬を活用する考えは。

〔市長〕 熊のにおいを察知し、追いつくためには、幼犬期からの特別な訓練が必要。さらなる情報収集を行い、県と連携しながら対策に努めたい。

受動喫煙防止について

〔問〕 県は、受動喫煙防止のため、庁舎内全面禁煙や敷地内全面禁煙を実施の方向だが、本市の考えは。また、たばこの害や「サードハンド・スモーク」の周知は。

〔市長〕 来庁者の健康への影響等を総合的に勘案し、新庁舎には喫煙所を設置しない。敷地内についても慎重に検討したい。サードハンド・スモーク等については、今後も周知と啓発に努めたい。

合葬墓の整備について

〔問〕 秋田市が募集した合葬墓に希望者が殺到し、近年の都市化や終活、墓じまい等が切実な問題となってきたているが、どのように捉えているのか。

大館駅前駐輪場に、屋根と自転車 転倒防止器の設置を急ぐこと

笹島 愛子 議員（日本共産党）
ささじま あいこ



〔問〕 現在の駐輪場には、高校生らの自転車雨がざらしのまま置かれている。その上、突風等により軒並みに倒れていることもあり、自転車の傷みも激しくなる。市民を大事にする思いをもって一日も早く整備すること。

〔市長〕 大館朝市、及びJR利用者のための駐輪場として設置しているが、屋根がないため利用者には大変な不便をかけている。早急に対応状況を把握し、利用者の利便性向上が図られるよう整備に向けて検討する。

市内各公園の整備について

桂城公園のトイレに

赤ちゃんベッドを

〔問〕 先日、公園の草刈り状況等を見て回ったが、最近刈ったと思われるところ、当日3人で刈っていた

ところなどが見られ安心した。しかし、草の伸びは早い。市民が安心して憩えるよう年4回の草刈りは必至である。そのための予算措置をすること。また、桂城公園内のトイレには赤ちゃん用ベッドがない。ぜひ設置すること。

〔市長〕 公園の草刈りは年に1、2回実施しているが、公園によってはトイレ清掃や除草の頻度が少なく御不便をおかけしているところもあると思う。今後は、実施時期・回数を見直し、適切な維持に努める。また、桂城公園については、おむつ交換用ベッドの設置が可能か調査し検討する。

交通の不便な地域は、 いつ解消されるのか

〔問〕 今定例会で「地域の足確保推進モデル事業費」が計上された。早急に実施すること。

〔市長〕 情報の収集に努め、さまざまな角度から交通弱者を支える体制を構築していく。

市議会を傍聴してみませんか？

議会の本会議は どなたでも傍聴できます

【傍聴の手続きは】

事前の手続きは不要です。ただし、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご相談ください。

【本会議の日程を知りたい】

正式な会議の日程は、本会議初日の数日前に決定します。おおよその日程を事前にお知りになりたい場合は、大館市ホームページをご覧ください。議会事務局に電話などでご確認ください。

【議場の傍聴席への入場は】

会議開始の15分前からご入場可能です。市役所東側（裁判所側）の玄関からお入りいただき、階段を上って3階に議場入り口がございます。

入り口では受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従ってお入りください。

●お問い合わせは

大館市議会事務局 ☎ 4 3 - 7 1 0 8（直通）



昨年12月、桂城小学校の皆さんの傍聴の様子

常任委員会の審査から

大館市議会には4つの常任委員会があり、議員は必ずいずれかの委員会に属し、議案等の審査に当たっております。ここでは6月定例会の審査の概要をお知らせいたします。

総務財政常任委員会

5月18日から19日にかけての 大雨による被害状況

大館市手数料条例の一部を 改正する条例案

砂利採取計画の認可等に係る申請手数料を改定しようとするもの。砂利採取事業者は採取の場所ごとに採取計画を定めて管轄する行政機関に認可を受けなければならず、川の場合は県が、川以外の場所は県からの事務委託により市が行うことになっている。

その他の報告

○5月18日から19日にかけての 大雨による被害状況

主な被害状況は、市道はのり面崩落、側溝閉塞など2カ所。河川は護岸崩壊16カ所、河道閉塞4カ所。農地・農業用施設は畦畔崩落等8カ所。農道2カ所、林道2カ所でいずれも路肩崩壊やのり面崩落。復旧に係る工事

費の概算は3,299万5千円である。また、農作物の被害としては冠水または土砂流入で水稻が27・7ヘクタール。枝豆が2.9ヘクタールで、合計被害額が61万1千円であった。

○ハチ公の駅(仮称)の今後の スケジュールについて

平成31年5月上旬にオープン予定。ハード整備は来年3月までに完了するが、多目的広場は平成31年度に整備する予定。



現地調査の様子 (ハチ公の駅(仮称)建設予定地)

厚生常任委員会

扇田病院外来診療費 着服事件の進捗状況は

外来診療費着服事件の進捗 状況はどうなっているのか

問 裁判になり、事件発覚当初の予想より時間がかかっているため、市民は心配している。

答 事件発覚後、市は直ちに関係委託業者2社へ損害賠償請求し、請求に応じない1社に対しては提訴している。また、ことし5月には警察へ被害届と告訴状を提出したところであり、今後引き続き損害金の全額回収に向けて全力で取り組んでいく。
(※その後、着服した元従業員は7月9日に逮捕されました)

市税条例等の一部を改正する 条例の専決処分の承認

地方税法の一部改正に伴い、固定資産税関係ではわがまち条例の導入等、市たばこ税関係ではたばこ税の引き上げや加熱式たばこの課税方式の見直しの措置を定めた専決処分の承認を議

会に求めるもの。

問 市たばこ税の税収はいくらか。

答 29年度の実績は約5億1,000万円。近年、たばこの消費量減少により、年々税収も減少してきている。

問 たばこ税額の引き上げにより、たばこ税の税収減は緩和される見込みか。

答 そのように予測しているが、たばこの値上げによりさらに消費量が減少することも懸念される。



扇田病院

教育産業常任委員会

昨年に引き続き、 熊の出没が多発。対策は。

平成30年度

一般会計補正予算

○「緩衝帯」等整備事業

熊が、樹木ややぶなどの物陰
伝いに移動する習性を利用した
出没抑制策として注目されてい
る。

長根山の小柄沢墓園付近から
岩神ふれあいの森入り口付近に
かけ、幅30メートル、距離約1
キロメートルにわたって刈り払
いを行い、見通しをよくした緩
衝帯をつくること（ゾーニング）
で熊の出没を抑制できるかを試
験的に行おうとする県の補助事
業。

図 山に詳しい方の話を伺った
ことがあるが、熊が居ついてい
る場所を特定し、刈り払い行っ
と、そこには熊が寄りつかなく
なるとのことだった。それなり
の効果が期待できると考えてい
る。県の補助に頼るだけではな

く、市内の熊の出没状況を踏ま
えた上で、市独自でも実施でき
ないものか。

答 県では、熊出沒抑制策とし
てのゾーニングの効果ををはかる
ため、県内において補助金を交
付し、試験的に実施する。今回、
大館市が選ばれたことを機会と
し、その効果を検証したい。そ
の上で効果が認められた際には、
本市においても独自に取り組ん
でいきたい。



試験的に緩衝帯をつくる予定

建設水道常任委員会

公共交通空白地の交通手段 確保に向けた取り組みを支援

平成30年度

一般会計補正予算

○「地域の足」確保

推進モデル事業

秋田県が創設した補助事業で
あり、公共交通空白地有償輸送
の導入に向け、田代地域におい
て地域住民やNPOなどが主体
となった地域助け合い型の公共
交通サービスについて、組織の
立ち上げや実証運行に取り組む
もの。

問 ほかの自治体でも実施する
のか。

答 大館市のみで実施する。こ
とし3月に地域公共交通網形成
計画を作成したこと、また、田
代地域で取り組みたいという動
きがあったため、モデル事業に
選定された。

問 地域の方が自分の車で住民
を輸送する取り組みになるのか。
答 それを行うためのNPO法

人を地域で立ち上げていただき、
ドライバーの登録なども必要に
なる。ドライバーの方には運輸
局の講習を受けていただく。

平成29年度の除雪状況

図 冬期間に発生する道路の穴
の補修がまだ済んでいないとい
ころがある。管理を含めてパト
ロールの仕方や情報収集の方法
に改善が必要では。

答 パトロールは2カ月に1回
行っているほか、市民の方から
の情報で確認し、補修している。



現地調査の様子（市道認定予定箇所）

せい む かつ どう ひ
政務活動費の状況をお知らせします（平成29年度）

政務活動費とは

大館市議会では、地方自治法に基づき、大館市議会議員政務活動費の交付に関する条例が定められており、議員1人当たり月1万5,000円が交付されています。これは議員報酬ではなく、市議会議員の調査研究のために必要な経費の一部として交付されるものです。なお、残余金があった場合は返還することになっています。

◎平成29年度 政務活動費収支報告（平成29年4月～平成30年3月）

（単位：円）

議員氏名	収 入	支 出						支 出 合 計	市への 返還費
		調 査 研究費	資料購入 ・作成費	広 報 広聴費	要請・陳情 活動費	人件費	その他 経 費		
石垣 博隆	180,000	130,429						130,429	49,571
日景 賢悟	180,000	229,509	2,376					231,885	0
武田 晋	180,000	163,579	9,024	46,970				219,573	0
小畑 淳	180,000	130,429	2,970					133,399	46,601
虻川 久崇	180,000	130,429	4,680					135,109	44,891
中村 弘美	180,000	186,909	5,832					192,741	0
畠沢 一郎	180,000	32,340						32,340	147,660
伊藤 毅	180,000	130,429	20,000					150,429	29,571
阿部 文男	180,000	130,429	7,410	9,504				147,343	32,657
小棚木政之	180,000	130,429	44,349				5,880	180,658	0
藤原 明	180,000	130,429						130,429	49,571
田村 儀光	180,000	280,549						280,549	0
佐藤 久勝	180,000	130,429		91,820			6,804	229,053	0
仲沢 誠也	180,000	130,429						130,429	49,571
斉藤 則幸	180,000		6,780	36,720				43,500	136,500
小畑 新一	180,000		153,516	32,400				185,916	0
明石 宏康	180,000			247,829				247,829	0
佐々木公司	180,000	124,210	48,051				16,856	189,117	0
吉原 正	180,000		36,876	132,300				169,176	10,824
佐藤 健一	180,000	65,240	6,670					71,910	108,090
田中耕太郎	180,000			187,920				187,920	0
相馬エミ子	180,000	81,300		86,035		10,000		177,335	2,665
岩本 裕司	180,000	81,300						81,300	98,700
佐藤 眞平	180,000	81,300					13,080	94,380	85,620
富樫 孝	180,000	81,300	39,960				65,064	186,324	0
菅 大輔	180,000	81,300	13,088	41,000				135,388	44,612
佐藤 芳忠	180,000	79,239		95,506			39,200	213,945	0
笹島 愛子	180,000	80,740	25,328	42,000				148,068	31,932
合 計	5,040,000	2,822,676	426,910	1,050,004	0	10,000	146,884	4,456,474	969,036

※ 支出合計が収入を超えた分は、議員が自己負担しています。

全国市議会議長会表彰

6月議会定例会において、在職15年・10年の議員に表彰状が伝達されました。



藤 原 明 議員



小 畑 淳 議員



武 田 晋 議員

議員在職15年以上



佐 藤 健 一 議員

議員在職10年以上



田 中 耕太郎 議員



佐 藤 久 勝 議員



議会報告会の様子（7月6日 大葛地区高齢者・若者センター）

議会報告会を

開催しました

さる7月5日（木）から8日（日）にかけて、市内8会場で議会報告会を開催しました。

市民の皆様には多数のご参加をいただき、まことにありがとうございました。意見交換の場であった貴重なご意見やご提言につきましては、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

また、議会への意見・要望や、市に対するご要望等につきましては、とりまとめた上で今後の議会だよりでご報告いたします。

私もひ・と・こ・と

第33回

虻川洋行さん（大田面）



— まちの未来を想う —

ここ最近、秋田犬を紙面で見かけない日がないというほどの活躍で、大館が脚光を浴びています。市外県外の友人からも「大館凄いね!」と言われることも多く、秋田犬ももちろんですが、大館市が官民一体となって発信・企画するイベントも大きな一助となっているのではと思っています。

まつり」と「肉の博覧会」の2つとなります。この2つのイベントは実行委員の私たち20代から50代のメンバー総勢120名からの民間人で構成されており、「お客様に喜んでもらうには?」「どうやったら大館に来てもらえるのか?」とイベント直前にもなれば連日連夜おそくまで議論を交わし、イベントの企画と運営を担っております。

メンバーそれぞれに仕事がある中、家庭もある中、何に突き動かされ頑張っているのか?それは、このまちに多くの人々が訪れ、観光が成り立ち、地域にお金が循環する仕組みを作り上げることがもちろんのこと、自分たちの子供たちが大館に誇りを持ち、未来を担う彼らがまた次の世代へとバトンを渡して行けるようにと、目先のイベントの成功だけではなく、次世代へ繋ぐ、大館の未来を想うといった大きな使命感を持って取り組んでいるからです。

この大館には、私たち以外にもた

41歳。子供は3人。生花店経営のかたわら様々な活動をしております。最近13キロの減量に成功し、逆に多くの方々に心配されますがいたって健康です。

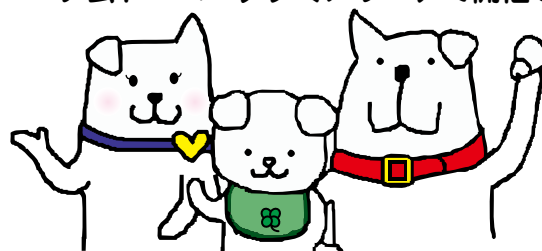
くさんの方が、まちを思いさまざまな活動をしております。登り方は違うけれど、目指す頂きは一緒なのだとつくづく考えさせられることも多く、人口減少が進む中、このような活動が運動し、サポートし合える環境作りも今後必要なのではないかと思います。市議会にはこういった取り組みもしていただければと思います。

最後に、地域を想う前に、我が社の未来を描けているか?私自身経営者として自問自答することも多々ありますが、両立してやってきた偉大な先輩たちがこの大館にはたくさんおられます。そしてそんな先輩たちに少しでも近づけるよう、これから支えてくださっている方々に感謝の気持ちを忘れず頑張つてまいります。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

肉の博覧会inおおだては
8月4日(土)・5日(日)
ニプロハチ公ドーム・タクミアリーナで開催します



編集後記

厳しい暑さの後は連日の雨続き。西日本を中心とした記録的な豪雨は平成で最大の被害となった。自然の脅威の前に、人間の無力を思い知らされた。「予想外」と言う被害者の声は、どこでも災害が起こり得ることを示している。油断大敵。

さて、議会報は今回から2ページ増となり、カラーも多くなります。表紙は各委員会の活動状況、委員会の議論の話題も今回取り上げました。議会と市民の架け橋となるよう委員一同奮闘中です。市民の皆さんからの批評、提案を歓迎します。



(吉原 正記)